

重点取組分野	令和 元 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
豊かな心	①全教職員での特別な教科道徳の研究をさらに進めていく。②生徒会、生活委員会によるいじめ問題への啓発活動を通して、他人への思いやりの心を育てる。また、福祉委員会によるシニアサロンへの参加などで幅広い世代の方と触れ合い、「思いやり・助け合い」の心を育む。	①研修が進み実践が充実できた。また、計画的に授業を行うことができた。②生活委員会のいじめ防止標語の活動や、生徒会役員によるサンキューウィークなど具体的な取り組みを通して、いじめを生まない心の醸成に取り組んだ。天候等の影響で実施できなかった行事は次年度に行いたい。	A
健やかな体	①新体力テストの結果をもとに、一人ひとりが自分の体力を知り、体力向上に向けての目標を定め実践する。また、「食育」「喫煙防止」「薬乱防止」などについての学習を実施し健全な体の育成を目指す。②SC等との連携のもとカウンセリングを充実させ心の健康を維持、向上させる。	①体力テストの結果や食育を通じて一人ひとりの健康維持への関心を高めることができた。年度末行うことができなかった健康教育を次年度行いたい。②、カウンセリングの実施や、教育相談などSCや関係諸機関との連携が深まり、効果的に取り組むことができた。	A
生きてはたらく知	①校内の授業研やブロック授業研において主体的・対話的で深い学びを実現するための授業を研究する。②年度末に生徒による授業評価を実施し、生徒の実態に即した授業を実施する。	①年次研修やメンター研修、日々の授業で主体的・対話的で深い学びを意識した実践を行った。授業改善に向けてさらに研修を進めたい。②生徒はおおむねどの授業にも前向きに取り組んでいる。集中しやすい授業づくりや、主体的に取り組みや授業について十分でない教科について改善を目指す。	B
自分づくり・キャリア教育	①1年の職業講話、2年の職場体験、3年で地域の方を面接官とした模擬面接等の活動を充実させ、自分の将来を考えるキャリア学習を、3年間の見直しをもち、学年ごとに系統性を持って実施する。②普段の学校生活の中で、生徒の進路に関する悩みや相談を受け助言する。	①地域や事業所の力を借りて行っているキャリア学習では、生徒が具体的な体験や公演を通して自己の将来について考える良い機会となっている。②進路学習や進路相談をさらに充実させるよう保護者からの要望があることを受け止め改善していく。	A
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを中心にサポートルームの充実など、校内体制を整備し特別支援教育に組織的に取り組む。②ユニバーサルデザインに関する研修を進めるなど、すべての教育活動において特別支援教育の視点に立った個に応じた適切な指導を行う。	①特別支援教室の積極的な運営を通して、教職員の特別支援教育に対する理解がより深まった。学習支援の充実を行うなどさらに組織的に取り組む。②教室内の掲示物だけでなく、誰にとっても安心して学校生活を送ることができる環境づくりについて考え、指導にあたる意識が高まった。	A
児童生徒指導	①長期休業後に生徒と各担任による教育相談を実施し、生徒理解と信頼関係づくりに努める。また、毎月末に生活調査を実施し、教職員が適切なアドバイスをを行う。②不登校生徒に対してサポートルームを活用し、養護教諭・カウンセラーと協力しながら、生徒の社会的自立に向けて支援する。	①教育相談の実施や毎月の生活調査を活用し生徒理解、指導に努め問題の未然防止に役立てることができた。②特別支援教室を活用し、不登校傾向の生徒への支援を行い個々の生徒の成長が見られるなど成果を上げた。課題となった学習支援の充実に取り組んでいく。	A
地域連携・学校運営協議会	①地域行事に、福祉委員会や吹奏楽部を中心に積極的に参加し交流を図る。②学家地連を活用したり、学校・地域コーディネーターを配置し地域学校協働本部を立ち上げ、学校行事等と地域の人材の持続可能な関係を構築する。	①地域の祭りに生徒が積極的に参加することができた。年度後半、行事の中止があり、例年通りの活動ができなかった。②今年度から学校地域コーディネーターを配置し準備を進めたが、役割を継続できなくなりとん挫してしまっ。次年度は新たな人材を発掘したい。	B
いじめへの対応	①毎月学校生活アンケートを確実に実施し、いじめの未然防止に努めるとともに、カウンセラー等の専門職や外部機関との連携を図り、迅速に適切な指導ができる体制をつくる。②いじめ防止対策推進委員会を毎月開催し、点検を行い未然防止や問題解決に組織的に取り組む体制を築く。	①生活アンケートの実施と活用ができた。またSC、SSWなどの専門家との連携が充実し、アドバイスを受けながら適切な指導をすることができた。②委員会を毎月実施、小委員会を毎週実施し、組織的にいじめ対策に取り組むことができた。さらに未然防止の手立てを講じていきたい。	B
人材育成・組織運営(働き方改革)	①学年を中心として、日々の活動や学年会の中で効果的な指導法を共有し、実際の場面でその指導を行なうとともに、中堅教員を中心としたメンターチームを設置し、若い教職員の人材育成と、中堅リーダーの育成を行う。②勤務の在り方や部活動の在り方などについて働き方改革、ワークライフバランスの視点から見直しを行う。	①学年や学校運営を通して人材育成を図ってきた。その成果で意識が高くなってきている。今後も失敗を恐れず、経験に応じた責任を持たせることで人材育成に取り組んでいきたい。②働き方改革の視点から業務の在り方、部活動の在り方について意識改革を行ってきた。今後も取り組みを進めていく。	B
ブロック内評価後の気付き	小中一貫教育ブロックでは「人権教育を視点とした授業の取り組み」をテーマに小学校で1回、中学校で1回授業公開と研究会を開き、教科ごとに意見交換を行い小中で共通した指導を目指すなど一貫教育の推進を行った。子ども会議では、中学校で行っている挨拶運動「オアシス運動」をブロック内でも同じように行おうという投げかけを行った。また、例年行っているクラブ交流、合唱交流、個別支援学級の交流授業などを連中一ギャップの軽減に向けた取り組みを行った。今後とも一貫教育の視点から児童生徒、教職員の連		
学校関係者評価	生徒たちは気持ちの良い挨拶をすること、授業に熱心に取り組んでいることなど日々の取り組みについてよい評価をいただいた。また、夏祭や地域での植栽活動などに生徒たちが参加していることが評価されると同時に、地域の防災訓練などへのさらなる積極的な参加や、参画を期待されている。さらに本校で行っている特別支援教育、不登校生徒への支援について評価され、をさらに進めるよう期待を受けている。		
中期取組目標振り返り	・学校行事や地域行事などの人との関りを通じて、自己を見つめてより良い自分を目指す生徒が育成されつつある。今後も、義務教育9年間を通して学びあい認めあひ高めあう生徒の育成を目指していきたい。 ・特別支援教育、不登校支援について、誰にとっても安心できる学校づくりの達成に向け成果を上げることができたので、より一層の充実を目指していく。 ・人材育成を喫緊の課題として受け止め、意識的意図的な学校運営に努めていきたい。		

重点取組分野	令和 2 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
豊かな心	①3年間を見通した道徳の授業展開および評価の在り方について研修を進めていく。②生徒会、生活委員会によるいじめ問題への啓発活動を通して、他人への思いやりの心を育てる。特に、生徒の主体的な活動に重点を置き、思いやりの心を醸成する。地域の行事への参加を通し、「思いやり・助け合い」の心を育む。	①3年間を見通した道徳の授業展開および評価の在り方について研修を進めていく。②生徒会、生活委員会によるいじめ問題への啓発活動を通して、他人への思いやりの心を育てる。特に、生徒の主体的な活動に重点を置き、思いやりの心を醸成する。地域の行事への参加を通し、「思いやり・助け合い」の心を育む。	
健やかな体	①新体力テストの結果をもとに、一人ひとりが自分の体力を知り、体力向上に向けての目標を定め実践する。また、「食育」「喫煙防止」「薬乱防止」などについての学習を実施し健全な体の育成を目指す。②SSW、SC等との連携のもとカウンセリングをさらに充実させ心の健康を維持向上させる。	①新体力テストの結果をもとに、一人ひとりが自分の体力を知り、体力向上に向けての目標を定め実践する。また、「食育」「喫煙防止」「薬乱防止」などについての学習を実施し健全な体の育成を目指す。②SSW、SC等との連携のもとカウンセリングをさらに充実させ心の健康を維持向上させる。	
生きてはたらく知	①年次研修やメンター研修などに、経験年数に拘わらず多くの職員が臨み、主体的・対話的で深い学びを強く意識した授業づくりに取り組む。②教科学習等で身に付けた知識を、行事等様々な場面において生徒が工夫し考えるよう意図的な運営を行う。	①年次研修やメンター研修などに、経験年数に拘わらず多くの職員が臨み、主体的・対話的で深い学びを強く意識した授業づくりに取り組む。②教科学習等で身に付けた知識を、行事等様々な場面において生徒が工夫し考えるよう意図的な運営を行う。	
自分づくり・キャリア教育	①引き続き、1年の職業講話、2年の職場体験、3年で地域の方を面接官とした模擬面接等を地域・保護者の協力のもと充実させ、3年間の3年間の見直しと系統性を持って実施する。②キャリアパスポートを活用し、これまでの活動をしっかり活用、蓄積するなど、自分づくり教育を定着させる。	①引き続き、1年の職業講話、2年の職場体験、3年で地域の方を面接官とした模擬面接等を地域・保護者の協力のもと充実させ、3年間の3年間の見直しと系統性を持って実施する。②キャリアパスポートを活用し、これまでの活動をしっかり活用、蓄積するなど、自分づくり教育を定着させる。	
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを中心にサポートルームの充実など、校内体制を整備し特別支援教育に組織的に取り組む。②アダプティブルーム試行校として、学習ソフトを活用した学習支援に取り組み、取り出し授業など、個に応じた支援の在り方について研修を深める。	①特別支援コーディネーターを中心にサポートルームの充実など、校内体制を整備し特別支援教育に組織的に取り組む。②アダプティブルーム試行校として、学習ソフトを活用した学習支援に取り組み、取り出し授業など、個に応じた支援の在り方について研修を深める。	
児童生徒指導	①長期休業後の教育相談をより徹底し、生徒理解と信頼関係に努める。毎月末の生活調査についてはより充実させ生徒指導に活用する。②不登校生徒への社会的自立に向けた支援を充実するため、学習ソフトを活用した学習支援に取り組む。	①長期休業後の教育相談をより徹底し、生徒理解と信頼関係に努める。毎月末の生活調査についてはより充実させ生徒指導に活用する。②不登校生徒への社会的自立に向けた支援を充実するため、学習ソフトを活用した学習支援に取り組む。	
地域連携・学校運営協議会	①地域行事への参加、をより積極的に行い交流を深める。②学校地域コーディネータの配置について、予定していたコーディネーターが活動できなくなってしまうため、後任の適任者の配置を行う。	①地域行事への参加、をより積極的に行い交流を深める。②学校地域コーディネータの配置について、予定していたコーディネーターが活動できなくなってしまうため、後任の適任者の配置を行う。	
いじめへの対応	①毎月の学校生活アンケートの確実な実施を継続するとともに、日々の生徒の見取りを大切にす。また、積極的に関係諸機関との連携を行う。②毎月のいじめ防止対策推進委員会を定着させるとともに、日々の教育活動におけるいじめを許さない風土づくりを推進する。	①毎月の学校生活アンケートの確実な実施を継続するとともに、日々の生徒の見取りを大切にす。また、積極的に関係諸機関との連携を行う。②毎月のいじめ防止対策推進委員会を定着させるとともに、日々の教育活動におけるいじめを許さない風土づくりを推進する。	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①学校運営において、人材育成を念頭に置いた配置を行う。また、学年運営においてもこれを意識してOJTでの人材育成をより推進する。②業務の効率性を積極的に評価する。これを通して時間外勤務についてその縮減に向けてさらなる意識改革を行う。③業務の効率化を図るためグループウェアの導入の検討を行う。	①学校運営において、人材育成を念頭に置いた配置を行う。また、学年運営においてもこれを意識してOJTでの人材育成をより推進する。②業務の効率性を積極的に評価する。これを通して時間外勤務についてその縮減に向けてさらなる意識改革を行う。③業務の効率化を図るためグループウェアの導入の検討を行う。	
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			
中期取組目標振り返り			

重点取組分野	令和 3 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
豊かな心	c1		
健やかな体	c2		
生きてはたらく知	c3		
自分づくり・キャリア教育	c4		
特別支援教育	c5		
児童生徒指導	c6		
地域連携・学校運営協議会	c7		
	c8		
いじめへの対応	c9		
人材育成・組織運営(働き方改革)	c10		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			
中期取組目標振り返り			